

部局名	2021年度 年度目標	対応するSDGsゴール
総長室	「激動する21世紀の多様な課題を解決し、『持続可能な地球社会の構築』に貢献すること」をミッションに掲げる大学として、また「自由を生き抜く実践知」を大学憲章に掲げる大学として、2018年12月に発信された総長ステイタメントに基づき、本学の政策・方針決定にあたっては、SDGsの17のゴール（目標）を念頭におきつつ、かつ、本学のリソースを最大限に活用した政策提言・企画提案を行っていく。	1～17
総長室	広報課が発行・公開する各種広報媒体において、SDGsの17のゴール（目標）に向けた取組を行っている教職員、卒業生、在学生を積極的に取り上げ、知らせることで学内外へのSDGsの取組促進に努める。また、それに向けた情報収集を積極的に行っていく。あわせて、それら本学の教職員、卒業生、在学生の活動を本学ホームページ等により国内外に広く積極的に発信することで、SDGsのゴール4：「質の高い教育をみんなに」の目標達成に寄与する。	4（質の高い教育をみんなに）
総長室付大学評価室	「内部質保証システム」「目標の達成度」を重視したPDCAサイクルにもとづく自己点検・評価の主体的な実施をサポートする。	4（質の高い教育をみんなに）
総長室付大学評価室	性別や、障害の有無、国籍、宗教の違い等で差別することなく、公平なデータ収集・分析および報告をする。	5（ジェンダー平等を実現しよう） 10（人や国の不平等をなくそう）
総長室付附属校連携室	1 附属校教諭の職場環境改善の取り組みを支援する。 （1）附属校教諭の持続可能性のある働き方（労働時間管理の制度運用等）の取り組みを支援する。具体的には、附属校教諭用の勤怠管理システムを管理する。 （2）附属校教諭のキャリア形成（研修制度等）の検討の取り組みを支援する。具体的には、新任教諭就任式（4月）後の講演・懇談や新任教諭研修（8月）の実施事務局を務める。	3（すべての人に健康と福祉を） 8（働きがいも経済成長も）
総長室付附属校連携室	2 高大連携事業を通じてSDGsの達成に取り組む力をもつ人材を育成する。具体的には、「総長杯英語プレゼンテーション大会」のテーマとSDGsの関連付けを提案する。	4（質の高い教育をみんなに）
総長室付教学企画室	SDGs+（プラス）プロジェクトの主管部局として、学内外の組織と連携しながら、教育・研究・社会貢献・学生の視点からSDGs達成に向けた各種企画を立案し実施する。	1～17
総務部	事業継続計画（BCP）の更新を行う。 完成済みの事業継続計画＜第一版＞は、想定災害レベルを①東日本大震災レベル、②首都圏直下地震レベルの2パターンとし、法人全体のしくみ、各部署の事業計画を具体化した。③今後、新型コロナを想定した感染症対応版も増補し、第二版として更新する。	11（住み続けられるまちづくりを） 13（気候変動に具体的な対策を）
卒業生・後援会連携室	募金により奨学金収入を増やし、経済的困窮の学生への支援を拡大し、大学進学希望者への間口拡大を支援する。 【具体的な施策】 募金制度の周知を行い、募金収入拡大を目指す。	4（質の高い教育をみんなに）
卒業生・後援会連携室	募金により教育・研究環境の充実をはかり、各種技術研究を推進させることを通じて産業と技術革新の基盤づくりを支援する。 【具体的な施策】 募金制度の周知を行い、募金収入拡大を目指す。	9（産業と技術革新の基盤をつくろう）
人事部	人々が「健康的な生活」を実現するための基盤形成を意識して、本学教職員が健康的に教育研究活動を推進することができるよう、環境を整備する。具体的には以下の取り組みを進める。 【具体的施策】 （1）すべての専任教職員が年1回の定期健康診断を必ず受けるよう、情報提供を強化する。また、再検査や要治療となった教職員に対して適切な行動をとるよう推奨するなどして、健康経営の実現に努める。 （2）教職員の長時間労働削減に向けた取り組みを強化する。大学教員に対しては適切な労働時間制度と休暇管理の制度創出を目指して検討を進める。附属校教員に対してはフレックスタイム制の導入定着をめざしつつ、時間外労働の削減を目指す。職員に対しては中期経営目標である「2022年度までに時間外労働30%削減」を目指す。	3（すべての人に健康と福祉を）
人事部	本学は「法政大学ダイバーシティ宣言」を通じて、より多様な学生・教職員を受け入れ、それぞれの個性的な成長と活躍の機会を保障していくための環境整備に努めていくことをめざす。本学におけるダイバーシティ実現のために、以下の取り組みを進める。 【具体的施策】 （1）育児と仕事の両立支援。必要な諸制度の整備とともに、ワークライフバランスに向けた育児当事者の意欲向上と周囲の教職員の理解促進に努める。 （2）より多様な学生の受け入れに対応するために、教職員の異文化理解・グローバル対応能力の向上に努めるとともに、LGBT等性的少数者への理解、障がいのある学生・教職員への対応力向上等について、研修等を通じた啓発活動を推進する。	5（ジェンダー平等を実現しよう）
人事部	本学は「法政大学憲章」を通じて、大学に集う全ての人々とともに、教育と研究の理想を創造的に追求し、社会的責任を果たしていくことを「社会と約束」している。教育と研究、またこれを支えるさまざまな業務を通じて、教職員の「働きがい」を追求しながら、よりよい社会の実現を目指して、社会との約束を果たすための努力を続ける。 【具体的施策】 （1）法政大学における教育と研究を通じて、教職員自身も成長や達成感を感じることでできる施策を検討する。 （2）さまざまな雇用形態について、適切な職務内容となるように心がけるとともに、あらゆるハラスメントの根絶を目指す。	8（働きがいも経済成長も）
経理部	中等・高等教育の機会を社会に提供し続けていかれるよう、学校法人法政大学の発展と持続性を確保するため、その基盤となる財政の強化に取り組む。	1～17

部局名	2021年度 年度目標	対応するSDGsゴール
施設部・環境センター	学内食堂や売店で寄付券の発行 【具体的な施策】 (スーパーで見かけるような) レジで購買者が寄付カードを提示したら、10円寄付するような制度を導入する。	1 (貧困をなくそう)
施設部・環境センター	フードバンクの活用 【具体的な施策】 非常食を含む学内における期限切れ間近の食品を集めて、フードバンクに寄贈する。	2 (飢餓をゼロに)
施設部・環境センター	階段利用の推進 【具体的な施策】 階段利用のキャンペーンを全校地で展開する。	3 (すべての人に健康と福祉を)
施設部・環境センター	トイレ改修の推進 【具体的な施策】 「誰でもトイレ」の改修・設置を推進し、サイン(色を含め)に配慮する。	5 (ジェンダー平等を実現しよう)
施設部・環境センター	省エネ化の推進 【具体的な施策】 省エネ製品の導入とリサイクルボックスの設置を推進する。	7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに)
施設部・環境センター	室温管理の徹底、自然エネルギーの活用 【具体的な施策】 室温が夏季28℃、冬季20℃になるよう、学内への徹底を図る。また、建物改修時に屋上緑化を推進する等、自然エネルギーを活用する。	13 (気候変動に具体的な対策を)
学務部	SDGs履修証明プログラムやSDGs科目群の開設等、「SDGsへの取り組みに関する総長ステートメント」に掲げた大学全体としてSDGs達成に向けた取り組みをより一層加速させるため、各種SDGsプログラムの開発と実行を推進する。	4 (質の高い教育をみんなに)
学務部	オンデマンド授業に代表される新たな授業方法を開発、推進することにより、いつでも、どこでも、何度でも授業を受講可能となる学習環境を整備し、かつ教育のオープン化に貢献する。	4 (質の高い教育をみんなに) 5 (ジェンダー平等を実現しよう) 10 (人や国の不平等をなくそう)
学務部	S G U事業の実行と検証を通じて、大学のグローバル化を推進する。	4 (質の高い教育をみんなに) 5 (ジェンダー平等を実現しよう) 10 (人や国の不平等をなくそう) 1 (貧困をなくそう)
学務部	SD活動や業務改善のための活動を通じて、部局で抱えている課題の抽出と解決のための方策の検討、実行し、かつ、ステークホルダー満足度向上のための取り組みを行う。	8 (働きがいも経済成長も) 5 (ジェンダー平等を実現しよう) 17 (パートナーシップで目標を達成する)
学務部	クールビズやエアコンの設定温度など身近な省エネ活動を通じて、エネルギー消費量の削減に貢献する。	7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに) 13 (気候変動に具体的な対策を) 15 (陸の豊かさを守ろう)
入学センター	入学センターが行う入試広報活動において、本学のSDGsの取り組みを積極的にアピールする。	4 (質の高い教育をみんなに) 17 (パートナーシップで目標を達成する)
多摩事務部	障がい者、外国人およびLGBTなど多様な構成員に優しいキャンパスを目指す。 そのために「(株)おれんじふおれすと」との連携・協力を深め、優しいキャンパスを実現するうえでの意識づけの向上を図るための施策を検討・実施する。	3 (すべての人に健康と福祉を) 10 (人や国の不平等をなくそう) 16 (平和と公正をすべての人に)
小金井事務部	「SDGsを意識した理系キャンパスでの教育研究活動を展開する」 【具体的な施策】 (1)法政科学技術フォーラム等を通じ、広く社会に研究成果を発表し、理系研究力を推進する。 (2)小金井市との包括協定をはじめとし、社会貢献と地域連携を意識して学外と連携を図り実現可能な企画・立案・実施をする。 (3)小金井キャンパス内の診療所を通じ、学生、教職員、学内利用者などすべての方が利用できる環境を用意する。また近郊の病院(武蔵野徳洲会病院)と緊急時受入れ協定を通じ万全な環境を維持する。 (4)理系キャンパスで所持している薬品や高圧ガスなどを適正に管理し、残量のあるスプレー缶の共有化や廃棄を意識的に実施する。	3 (すべての人に健康と福祉を) 4 (質の高い教育をみんなに) 9 (産業と技術革新の基盤をつくろう) 12 (つくる責任つかう責任) 17 (パートナーシップで目標を達成する)
大学院事務部	時間外勤務時間数を削減する。	8 (働きがいも経済成長も) 3 (すべての人に健康と福祉を)
大学院事務部	社会人が学ぶ環境を整備する。	4 (質の高い教育をみんなに) 9 (産業と技術革新の基盤をつくろう)
大学院事務部	留学生の日本語サポートを充実する。	10 (人や国の不平等をなくす) 4 (質の高い教育をみんなに)
大学院事務部	S D G s P L U S 履修証明プログラムを適切に運営する。	17 (パートナーシップで目標を達成する)

部局名	2021年度 年度目標	対応するSDGsゴール
リカレント・通信教育センター事務部	本学は社会貢献のビジョンに「社会人の学びの場としてのフロントランナー」として「社会全体の市民教育への貢献」を掲げている。通信教育部は1947年に日本で初めて設置された通信教育課程として長い間10歳代～90歳代まで幅広い年代の学生を、海外を含む様々な地域から受け入れ、学士課程の教育を行ってきた。また、2021年度より「通信教育部事務部」が改組され「リカレント・通信教育センター事務部」として設置されたことにより、通信教育課程という正規の学位課程のみでなく、社会人の学び直しに資する履修証明プログラム（学部及び大学院レベル）等の充実を目指すこととなった。引き続き年齢を問わず質の高い教育を提供していく。 【具体的な施策】 ・地域や時間に制限のないオンデマンド授業の充実を図る。 ・年齢を問わず学べる機会があることをHP等で広報活動を行う。	4（質の高い教育をみんなに）
グローバル教育センター事務部	奨学金制度の整備や外部奨学金獲得への取組を通じて、全ての学生が経済的理由によって断念することなく、留学や語学力向上、国際交流に挑戦できる機会を提供することを目指す。	4（質の高い教育をみんなに）
グローバル教育センター事務部	日本人学生と外国人留学生をさまざまな形で巻き込みながらキャンパスの国際化やグローバル展開を目指す取組を行うことで、さまざまなバックグラウンドを持つ学生同士の協働により異文化相互理解、平等の精神を育むことを目指す。	10（人や国の不平等をなくす）
学生センター	SDGsについて、学生センター発信で学生に広報する。	17（パートナーシップで目標を達成する）
学生センター	課外教養プログラムの一環として、学生によるSDGsへの取り組みをプロジェクト目標とする組織の設立を促す。	4（質の高い教育をみんなに） 17（パートナーシップで目標を達成する）
学生センター	学生が法政大学生としての自覚を持って行動し、キャンパスのルールを守り、安全安心な学生生活を過ごせるよう教育する。	3（すべての人に健康と福祉を） 4（質の高い教育をみんなに）
学生センター	障がいのある学生も、その他の学生と同等の教育を受けられるように必要な支援を行う。	4（質の高い教育をみんなに） 8（働きがいも経済成長も） 10（人や国の不平等をなくす） 16（平和と公正をすべての人に）
学生センター	学生が健康な心で大学生活が送れるように、また、教職員が安心して学生対応できるように必要な支援を行う。	5（ジェンダー平等を実現しよう） 8（働きがいも経済成長も） 10（人や国の不平等をなくす） 11（住み続けられるまちづくり）
学生センター	学生や教職員に対してメンタルヘルスに関する啓発活動を行う。	3（すべての人に健康と福祉を） 5（ジェンダー平等を実現しよう）
学生センター	学生や教職員に対して、障がいに対する啓発活動を行う。	4（質の高い教育をみんなに） 10（人や国の不平等をなくす）
保健体育センター	「正課教育（体育授業）」および「正課外教育（部活動）」を通じ、学生の健康増進とその実現に向けた管理・運体制を構築する。	3（すべての人に健康と福祉を）
保健体育センター	履修証明プログラムの安定的な運営を通じて、スポーツと健康に関する生涯学習の機会を提供する。	4（質の高い教育をみんなに）
キャリアセンター	就職希望者の中で、未就職者の数を減少させる。	8（働きがいも経済成長も）
研究開発センター	学術研究成果（発明等）の運用活用を促進する。 【具体的な施策】 主に理工系の研究室を対象にヒアリングを引き続き実施し、研究シーズの把握を行う。	9（産業と技術革新の基盤をつくろう）
研究開発センター	社会への貢献に資する共同研究、受託研究を促進する。 【具体的な施策】 法政科学技術フォーラム等を通じて、企業に研究シーズを紹介する。	9（産業と技術革新の基盤をつくろう）
総合情報センター事務部	世界的にパンデミックとなっているコロナウイルスに対する対応も含め、すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進するため、具体的なオンライン教育の技術的な側面での提案を実施する。 【具体的な施策】 オンライン授業と対面授業併用を支援するためにZoom、Webex、Teams等の提供を2020年度より実施している。また、経済的に困窮している学生、基礎疾患等のある学生に対しPC、Wi-Fiルーターの貸出を実施している。 情報教室等においては、コロナウイルスに対しアクリル板の設置、入り口にアルコールの常設等、授業受講環境を整えるため様々な対策を施している。	4（質の高い教育をみんなに）
図書館事務部	【目標1】（「図書館の中長期構想に関するプロジェクト」による中長期マスタープラン策定）（2018年度開始2020年度まで） →中長期マスタープラン（基本構想）が2020年度末に策定された。今後は実施フェーズ（予算規模、工程表等の策定）に入る。 【具体的な施策】 図書館の資料収集において、特に開架でこれら「ゴール」に関連、参考となる資料の収集に取り組む。また利用を奨励するような紹介方法を策定する。	1～16

部局名	2021年度 年度目標	対応するSDGsゴール
図書館事務部	<p>【目標2】「学術情報資料に関する調整プロジェクト」で策定された「学術情報資料の電子媒体への転換」を推進し、学習・教育研究の最先端の情報入手の体制を構築する。電子ジャーナル・データベースの充実、PPVの安定的運用と拡大可能性の検討、DDSの導入により、非来館で完結できるサービスをさらに向上させる。</p> <p>【具体的な施策】 学術情報の電子化推進（PPV、DDS導入も含む）で紙媒体資料の購入を減らす。どこからでも学術情報にアクセスできることで教育研究の質保証に貢献する。</p>	4（質の高い教育をみんなに） 7（エネルギーをみんなにそしてクリーンに） 15（陸の豊かさを守ろう）
図書館事務部	<p>【目標3】（蔵書構築の見直し） 資料収集・保存の基準を見直す。</p> <p>【具体的な施策】 データベース、電子資料への切り替えを進める中で法律関連資料を充実させ「すべての人々に司法へのアクセス」の推進に寄与する。</p>	4（質の高い教育をみんなに） 9（産業と技術革新の基盤をつくろう） 16（平和と公正をすべての人に）
図書館事務部	<p>【目標4】（研究支援・研究成果の発信支援・オープンアクセス支援） 図書館の研究支援機能を強化する。教員・研究者に向けた情報発信（図書館HPの充実等）による必要不可欠情報の提供を行う。国立情報学研究所（NII）との連携を踏まえ、「学術情報のオープンアクセス方針」の策定を視野に、機関リポジトリ（研究成果の公開）の充実を図り、DOIの整備、ORCIDへの対応等について、研究開発センター等関係部署と連携する。</p> <p>【具体的な施策】 オープンアクセスの推進により、本学の学術成果を世界の学術・科学・教育の発展に寄与する。</p>	4（質の高い教育をみんなに）
図書館事務部	<p>【目標4】（研究支援・研究成果の発信支援・オープンアクセス支援） 図書館の研究支援機能を強化する。教員・研究者に向けた情報発信（図書館HPの充実等）による必要不可欠情報の提供を行う。国立情報学研究所（NII）との連携を踏まえ、「学術情報のオープンアクセス方針」の策定を視野に、機関リポジトリ（研究成果の公開）の充実を図り、DOIの整備、ORCIDへの対応等について、研究開発センター等関係部署と連携する。</p> <p>【具体的な施策】 リポジトリによりペーパーレス化を促進する。</p>	7（エネルギーをみんなにそしてクリーンに）
図書館事務部	<p>【目標5】（学生の学習支援・発信支援） 学生・教職員のニーズを把握することにより図書館の機能を高める。アクティブラーニングに必要な学習環境（ラーニングcommons等）の機能や他部局との連携を再検証する。学習に限らない「本との出会いの場」を提供し、その魅力発信のイベントを支援する。学部生への基礎・専門ガイダンスコンテンツの常時利用を可能にする媒体作成、より専門的データベース講習や文献収集・論文書き方に関するガイダンスに比重を移す方策検討を開始する。ハード面・ソフト面ともに、利用者別サービス（障がい利用バリアの除去・ダイバーシティ・グローバル等）に目配りしつつ具体化する。</p> <p>【具体的な施策】 教育に資する教材とインフラを提供することで、教育の質の高さに寄与するとともに、図書館が場所・装置を提供することで、教育を受ける者の経済的負担を低減する。</p>	1（貧困をなくそう） 4（質の高い教育をみんなに）
図書館事務部	<p>【目標5】（学生の学習支援・発信支援） 学生・教職員のニーズを把握することにより図書館の機能を高める。アクティブラーニングに必要な学習環境（ラーニングcommons等）の機能や他部局との連携を再検証する。学習に限らない「本との出会いの場」を提供し、その魅力発信のイベントを支援する。学部生への基礎・専門ガイダンスコンテンツの常時利用を可能にする媒体作成、より専門的データベース講習や文献収集・論文書き方に関するガイダンスに比重を移す方策検討を開始する。ハード面・ソフト面ともに、利用者別サービス（障がい利用バリアの除去・ダイバーシティ・グローバル等）に目配りしつつ具体化する。</p> <p>【具体的な施策】 ライブラリーサポーター（学生ボランティア）によるSDGs関連の選書と展示を行う。</p>	1～17
図書館事務部	<p>【目標6】（施設設備の改善・デジタル化） 貴重書庫・一般書庫の狭隘問題や温湿度環境改善について、短中期計画を立て実施する。貴重な所蔵資料のデジタル・アーカイブ化について教員・研究者との連携を深めながら計画実施する。図書資料の収集・保存・除籍等に関わる仕組みを見直し整備する。</p> <p>【具体的な施策】 デジタル・アーカイブ化により、貴重資料へアクセスしやすくし、学内外への質の高い教育、情報の提供を行う。</p>	4（質の高い教育をみんなに）
HOSEIミュージアム事務室	<p>HOSEIミュージアムは、その目指す姿を「『人・地球社会の持続可能性』のための実験型ミュージアム」としている。また、本学の歴史はもとより、本学の研究成果・資源を公開し、自由度の高い学術研究コラボレーションを促進、連関させることを目的としている。HOSEIミュージアムならびにそのオンライン上での開かれた展開を通して、本学関係者に限らず、これまで大学に関係の無かった国内外の方々にも大学の知的資源にアクセス・共有する機会を提供することで、SDGsのゴール4：「質の高い教育をみんなに」の目標達成に寄与する。</p>	4（質の高い教育をみんなに）
中学高等学校事務室	<p>教職員の働き方改革を推進する。生徒の健康を維持する。</p> <p>【具体的な施策】 （1）教員の勤務管理制度の運用について、データシステムの安定的な利用をサポートする。本校独自の運用体制により教員の働き方をサポートする。職員についてノー残業デー実施を徹底する。 （2）2020年度から運用開始しているオンライン授業に必要な授業支援システムを利用を継続する。WEB会議ツール利用を継続する。 （3）生徒向け食堂での安全な運営体制を確保し、生徒の健康を増進させ保護者の家庭生活のサポートを行う。入構時の検温実施を継続する。</p>	3（すべての人に健康と福祉を） 8（働きがいも経済成長も）
第二中・高等学校事務室	<p>2020年度に本番稼働となったリプレイス後の各種システムの安定稼働実現により、スムーズな学習・教育環境の整備を図り、効果的な教育サービスを提供できるための支援を行う</p>	4（質の高い教育をみんなに） 5（ジェンダー平等を実現しよう） 7（エネルギーをみんなにそしてクリーンに） 8（働きがいも経済成長も）
第二中・高等学校事務室	<p>導入して2年目となる勤怠管理システムの有効活用により、教職員の過重労働の削減や、就業規則や関連法規に則した働き方改革を推進する</p>	4（質の高い教育をみんなに） 5（ジェンダー平等を実現しよう） 7（エネルギーをみんなにそしてクリーンに） 8（働きがいも経済成長も）

部局名	2021年度 年度目標	対応するSDGsゴール
第二中・高等学校事務室	HPリプレイスにより、本校の教育方針・活動を情報発信し広く社会とつながるよう環境を整備する	4 (質の高い教育をみんなに) 5 (ジェンダー平等を実現しよう) 7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに) 8 (働きがいも経済成長も)
第二中・高等学校事務室	校舎のバリアフリー環境の維持・推進に努める	4 (質の高い教育をみんなに) 5 (ジェンダー平等を実現しよう) 7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに) 8 (働きがいも経済成長も)
第二中・高等学校事務室	資源ごみ分別によるごみの削減を推進し、日頃から節電を心掛ける取り組みを行う。	4 (質の高い教育をみんなに) 5 (ジェンダー平等を実現しよう) 7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに) 8 (働きがいも経済成長も)
第二中・高等学校事務室	大学との連携により、ダイバーシティ推進の教職員の研修機会をより多く提供し（遠隔接続での参加など）、共通理解に向けた取り組みをサポートする	4 (質の高い教育をみんなに) 5 (ジェンダー平等を実現しよう) 7 (エネルギーをみんなにそしてクリーンに) 8 (働きがいも経済成長も)
国際高等学校事務室	教職員の働き方改革を推進する 【具体的な施策】 a. 教員の勤務管理データを管理し、時間外勤務削減、定期的な休日の取得など、就業規則、関連法規に対応した働き方ができるよう情報提供し、教員組織での働き方改革の実践をサポートする。 b. 職員組織においては、業務の削減、担当間の業務平準化を進め、時間外勤務削減、休日取得を実現する。	3 (すべての人に健康と福祉を)
国際高等学校事務室	災害時における地域との連携に協力する 【具体的な施策】 災害時に連携・協力して地域避難者・帰宅困難者の支援にあたるよう、生麦地区における「罹災者支援ネットワーク」に協力機関として参加する。	11 (住み続けられるまちづくり)
ハラスメント相談室	「法政大学ハラスメント防止宣言」のもと、本学の構成員がハラスメントの無い快適な環境で学び、働いていけることを目指す。 【具体的な施策】 研修や講演などを行い、一人一人がハラスメント防止の意識を深められるよう取り組んでいく。	4 (質の高い教育をみんなに) 5 (ジェンダー平等を実現しよう) 10 (人や国の不平等をなくす)
監査室	各職場における業務運営の適正化に資する提言をし、本学構成員が社会に貢献できる仕事を行うために内部監査を適切に実施する。 内部監査の実施によって学内における業務運営の適正化を行うとともに、効果的で責任ある制度の構築に貢献する。	8 (働きがいも経済成長も) 16 (平和と公正をすべての人に)